

数学科 第1学年 年間指導計画・評価計画

月	学習単元・内容・ねらい(時数)	評価の観点 (重み%)	評価規準	主な 評価方法
4 5	○正の数と負の数(28時間) ・正の数と負の数 ・加法と減法 ・乗法と除法 ・いろいろな計算 【ねらい】 正の数と負の数について、具体的な場面での活動を通して理解し、その四則の計算ができるようにする。	関心・意欲・態度 (25%)	・正負の数を用いると、より広い範囲の事象が簡潔・明瞭に表せたり、処理したりできることを知り、正負の数を活用しようとする。 ・正の数、負の数の四則計算を工夫して能率的に行おうとする。計算の可能性との関連から、さらに新しい課題への拡張を考えようとする。	授業観察 提出物 宿題
		見方・考え方 (25%)	・いろいろな事象を正の数、負の数を用いて表すことや計算を通して、負の数を用いて考えることのよさを見いだすことができる。 ・正の数負の数の計算を能率的に行う方法を考えることができる。	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
		技能 (25%)	・正の数、負の数を用いて、いろいろな事象を簡潔・明瞭に表現でき、能率的に正確な処理をすることができる。 ・正の数、負の数の四則計算を、順序を工夫するなどして、正確かつ能率的に行うことができる。	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
		知識・理解 (25%)	・正の数、負の数の必要性やよさを、経験や日常生活の具体的場面に結びつけて理解している。 ・正の数、負の数の計算の意味やその方法を、これまでの数の四則計算と関連づけて理解している。	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
6 7	○文字と式(21時間) ・文字と式 ・文字式の計算 【ねらい】 文字を用いて関係や法則を式に表現したり、式の意味をよみとったりできるようにするとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。	関心・意欲・態度 (25%)	・文字を用いて考えることの必要性やよさに関心を持ち、文字を用いた式をつくり、事象を正確かつ能率的に処理しようとする。 ・文字式の計算と数の計算を関連づけながら考え、式の値を求めようとしたり、文字式の計算を行おうとしたりする。	授業観察 提出物 宿題
		見方・考え方 (25%)	・文字を用いて考えることの必要性やよさについて考えることができる。 ・数の計算と関連づけたり、面積図を用いたりするなどして、文字式の計算方法を見いだすことができる。	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
		技能 (25%)	・数量の関係や法則を、文字を用いて説明することができる。 ・文字式の計算を、正確かつ能率的に行うことができる。	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
		知識・理解 (25%)	・文字使用のきまりによって、式の表現が簡潔になり、能率的に処理できることを理解している。 ・文字式の計算の意味を、具体的な場面と結びつけて理解している。	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
9	○1次方程式(20時間) ・1次方程式 ・1次方程式の利用 【ねらい】 方程式について理解し、それを利用して問題を解決することができるようにする。	関心・意欲・態度 (25%)	・身のまわりの事象には等式で表すことができるものがあることに興味を持ち、等しい関係を見だし、等式で表そうとする。 ・代数的な操作のよさに関心を持ち、方程式を能率的に解こうとする。 ・身のまわりの事象について、方程式を利用して解決することのよさに気づき、積極的に方程式を活用しようとする。	授業観察 提出物 宿題

		見方・考え方 (25%)	<ul style="list-style-type: none"> ・1元1次方程式の解が一意に決まることに気づき、それを論理的に考えることができる。 ・事象の数量関係を多様にとらえ、異なる方程式をつくって考えたり、求めた解について、事象にもどって検討したりすることができる。 	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
		技能 (25%)	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式と恒等式の違いを説明することができる。 ・いろいろな方程式を簡単な形に整理して、正確かつ能率的に解くことができる。 ・比の関係を比例式で表すことができる。 ・方程式をつくって文章題を解決するための一般的な手順を説明することができる。 ・大小関係を不等号を使って表すことができる。 	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
		知識・理解 (25%)	<ul style="list-style-type: none"> ・(1元1次)方程式では、解が1つに決まることを理解している。 ・方程式が、代数的な操作によって形式的に解ける根拠や、そのよさについて理解している。 ・文章題などで、方程式を用いない解法と方程式による解法を対比することなどを通して、方程式を用いて考えることのよさを理解している。 ・比例式の意味とその性質を理解している。 	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
10	<p>○比例と反比例(20時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比例 ・反比例 ・比例と反比例の利用 <p>【ねらい】 具体的な事象のなかから2つの数量の変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係を見だし、表現し、考察することができるようにする。</p>	関心・意欲・態度 (25%)	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの事象のなかから、比例、反比例の関係を見だし、その関係を表現したり、考察したりしようとする。 ・比例、反比例の特徴について、表、式、グラフを相互に関連づけて考えようとする。 ・比例、反比例の関係をを用いて能率的に調べられることに興味をもち、事象の考察に活用しようとする。 	授業観察 提出物 宿題
		見方・考え方 (25%)	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの事象から、比例、反比例の関係を見出すことができ、その関係について表現、考察したりすることができる。 ・比例、反比例の特徴と、表、式、グラフの特徴を相互に関連づけて、変化や対応のようすを考察することができる。 ・ある事象を表した表、式、グラフの特徴と、その事象の具体的な場面を関連づけ、事象について考察することができる。 	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
		技能 (25%)	<ul style="list-style-type: none"> ・比例、反比例の関係を式で表す手順や、変数、比例定数のもつ具体的な意味を説明することができる。 ・比例、反比例の関係を表、式、グラフなどを用いて適切に表現し、その特徴を相互に関連づけてよみとることができる。 ・比例、反比例の表、式、グラフを用いて、事象を的確に表現したり、能率的に処理したりすることができる。 	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
		知識・理解 (25%)	<ul style="list-style-type: none"> ・変数の意味を、方程式における文字と対比して理解している。 ・比例、反比例の特徴を、表、式、グラフを関連づけて理解している。 ・関数や比例、反比例の見方や考え方を、具体的場面で活用することを通して、そのよさを理解している。 	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
11	○平面図形(19時間)	関心・意欲・態度 (25%)	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形を対称性の観点から調べ、関連づけてとらえようとする。 	授業観察 提出物

	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形 作図 円とおうぎ形 <p>【ねらい】 平面図形についての理解を深めることができるようにするとともに、基本的な図形を見通しをもって作図することができるようにする。</p>	<p>見方・考え方 (25%)</p> <p>技能 (25%)</p> <p>知識・理解 (25%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 基本の作図の方法を、対称性などに着目して論理的に考えようとする。 垂線、線分の垂直二等分線、角の二等分線の作図方法を、関連づけてとらえようとする。 3つの移動を組み合わせて図形の移動を考えようしたり、いくつかの移動を1つの移動で表そうとしたりする。 平面図形を、対称性の観点から分類・統合する活動を通して、図形に対する見方を深めることができる。 基本の作図の方法を、対称性などに着目して見だし、論理的に考えることができる。 1つの移動を、いくつかの移動を組み合わせたものと考えたりするなど、3つの移動をたがいに関連づけて考えることができる。 図形が線対称、点対称になることやその性質を、図形の用語を用いて的確に説明することができる。 基本の作図の方法を用いて、あたえられた条件をみたす図をかいたり、その作図の方法を説明したりすることができる。 身のまわりにある図形を、対称性の観点からとらえたり、関連づけたりすることができることを理解している。 線分の垂直二等分線上の点や角の二等分線上の点がどのような性質をもつ点かを、作図の方法にもとづいて理解している。 	<p>宿題</p> <p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p> <p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p> <p>小テスト 定期考査</p>
12 1	<p>○空間図形(20時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間図形 立体の表面積と体積 <p>【ねらい】 図形を観察、操作や実験を通して考察し、空間図形についての理解を深めることができるようにする。</p>	<p>関心・意欲・態度 (25%)</p> <p>見方・考え方 (25%)</p> <p>技能 (25%)</p> <p>知識・理解 (25%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な立体を用いて、空間における直線や平面の位置関係を論理的に考えようとする。 直線や平面図形の運動によって構成される図形を見だし、それらの特徴を考察しようとする。 おうぎ形や立体の求積の方法について、平面図形の求積や小学校で学習したことなどと関連づけて考えようとする。 具体的な立体を用いて、空間における直線や平面の位置関係を論理的に考えることができる。 空間図形が、直線や平面図形の運動によって構成されるという見方をもとに、空間図形の特徴を考えることができる。 見取図や展開図を適切に用いて、空間図形の性質を見だし、考えることができる。 見取図や展開図を工夫して用いるなどして、空間図形の性質を的確によみとることができる。 おうぎ形や立体の求積を工夫して行ったり、求め方を的確に説明したりすることができる。 直線が平面と垂直であることを確かめる方法を理解している。 見取図、展開図のそれぞれの役割と特徴を理解している。立体の体積の求め方を、平面図形の求積や小学校で学習したことなどと関連づけて理解している。 	<p>授業観察 提出物 宿題</p> <p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p> <p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p> <p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p>
2 3	<p>○資料の整理とその活用(12時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の整理とその活用 	<p>関心・意欲・態度 (25%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料の特徴を調べるために、資料を度数分布表やヒストグラム、相対度数の表などに整理しようとする。 範囲や代表値を用いて、資料の特徴や違いを説明しようとする。 	<p>授業観察 提出物 宿題</p>

<p>【ねらい】 資料を目的に応じて収集し、それを表やグラフに整理し、資料の散らばりや代表値に着目して資料の傾向をよみとり、説明できるようにする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・真の値と測定値の大きさの違いに関心をもつ。 	
	見方・考え方 (25)%	<ul style="list-style-type: none"> ・度数分布表やヒストグラム、相対度数の表をもとに、資料の特徴を読み取り、説明することができる。 ・測定値と有効数字の関係について考えることができる。 ・目的に応じて資料をいろいろな観点から整理し、それにもとづいて、自分の考えをまとめ、説明することができる。 	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
	技 能 (25)%	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を度数分布表に整理したり、それをヒストグラムや度数折れ線に表したりすることができる。 ・範囲を求めることができる。真の値の範囲を、不等号を用いて表すことができる。 	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
	知識・理解 (25)%	<ul style="list-style-type: none"> ・度数分布表や階級、階級の幅、度数の意味を理解している。 ・ヒストグラム、度数折れ線の意味やそのかき方を理解している。範囲の意味と求め方を理解している。 ・平均値、メジアン、モードの意味と求め方を理解している。 ・有効数字の意味を理解している。 	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査